



インスピレーションになろう

Rotary International District 2800

山形西ロータリークラブ会報

会長：小林 恵一 幹事：菅原 茂秋

地区目標 「ロータリーの原点に戻ろう」 BACK TO BASICS

クラブテーマ 「あなた自身のロータリーを生きる」 ところに奉仕と友情の灯をともそう

◆点鐘：小林 恵一 会長 ◆ロータリーソング：それでこそロータリー
◆司会：大西 章泰 副 S.A.A. ◆会場：大沼デパート



Yamagata West Rotary

第2831回例会

平成30年12月10日(月)

会長挨拶

小林 恵一 会長



今年も残りわずかとなりました。今月7日は二十四節季の大雪、先週末から市内にも雪が降り、いよいよ本格的な冬の到来です。これから冬至に向かうにつれ、更に日足が短くなり寒さが厳しくなっています。

「冬来たりなば、春遠からじ」と云います。ここは寒さの中にあつて、やがて訪れる春に希望を託したいと思いま

す。今日はそのような意味合いで、このあと年次総会が開催されます。宜しくお願ひ致します。

今日は日常生活にとって身近な「賞味期限」について、話したいと思います。

「賞味期限」とは、食品の包装が未開封の状態 で保管していた場合、「おいしく食べられる目安となる期限」のことを言います。

間違わないで欲しいのは「消費期限」とは違うと云うことです。

例えば期限が過ぎたとしても、すぐ食べられなくなるわけではありませんが、日本の消費者は賞味期限の表示に対して、とても敏感です。飽食の時代なのでしょうが、息子や娘たちの世代は賞味期限を1日でも過ぎると絶対に口にしません。私どもが製造しているフルーツ缶詰は、基本的に賞味期限を3年にしていますが、加入しております公益社団法人 日本缶詰びん詰レトルト協会には、びん詰や合成樹脂容器・レトルトパウチ等、賞味期限の短い製品を製造している会社が多数存在します。

このところ課題となっているのが「食品ロス」の問題です。

業界には3分の1ルールという慣習があつて、例えば賞味期限が6か月の商品の場合、卸業者は製造日から数えて3分の1にあたる2か月以内にスーパー等の小売店に納品しなければならない。納品が製造日から2か月を過ぎますと店頭には並ばず、卸業者からメーカーに返品されたり廃棄されたりしています。

まだ食べられるのに捨てられた食品ロスが、国内全体で646万トン(2015年環境省)と云われています。これは同じ年、世界全体の食料援助量320万トン(国連調べ)のほぼ2倍に相当する食品が毎年ゴミとなる計算です。

ここにきて国内のある大手メーカーで、一部の商品から賞味期限表示を「年月日」から「年月」へ順次切り替える動きが出て来ました。例えば「2018年12月1日」の商品も「2018年12月31日」の商品も2018年11月に表示を統一し前倒しする。賞味期限は最長で1か月短くなるけれども、商品の到着が遅れて賞味期限が1日前後ただけで返品され廃棄するようなことが無くなり、むしろ食品ロスの削減につながると判断されたようです。

小売店の方も人手不足のおり、毎日、売り場で賞味期限の順に並べ直す手間が省けるメリットがあると捉えているようです。

食品ロスへの取り組みは、交流サイト(SNS)の普及で、これまで表に出なかった環境問題として伝わるようになり、企業だけでなく消費者も活動に参加し易くなって、国連が定めた持続可能な開発目標SDGsの動きをも後押しするようになってい

最近、外食店や食品の小売店で余った食材を消費者に割引価格で提供するスマートホンアプリなども登場し、経済的に余裕がないシングルマザーや高齢者などを手助けするプロジェクトが立ち上がっている。また、ネット上に情報や食品そのものを交換するプラットフォームを構築し、食品ロスの課題を事業で解決する動き等も出始めています。

長野県松本市では、宴会の乾杯の後の30分、お開き10分前に席に座って食事を楽しむよう呼びかけています。小盛メニューの拡充や披露宴の料理を選択できる取り組みも飲食店で広がって来ているようです。

来週はクリスマス家族会です。料理を気持ちよく楽しめるようにしたいものです。

幹事報告

菅原 茂秋 幹事

●高知南ロータリークラブのゴルフコンペにご参加の皆さんの写真がデータできております。データ以外の配信でご希望の方はお申し出いただければと思います。

●第25回のメジャードナー、遠藤栄次郎会員。

●米山功労者の第4回マルチプルに長谷川浩二会員。

●米山功労者の第4回マルチプルに小林恵一会長。

委員会報告

親睦・家族委員会

武田 岳彦 委員長

来週行われますクリスマス家族会に、ご家族も含めて140名の参加申込みをいただきました。大変多くの皆さまに出席をいただきましたこと本当にありがとうございます。

また、先週から呼びかけております景品の募集につきましても、景品の買取りのほうの予算もございまして、締め切りもギリギリ今週いっぱいぐらいまでは待ちたいと思いますので、たくさんの景品があったほうがお楽しみ抽選会が盛り上がると思いますので、ご提供のほうよろしくお願ひをいたします。

会員卓話

旭日小綾章 受賞

「受賞の慶び」

中山 真一 会員



仕事や何やらでお断りできない木村さんからお電話いただき、総会のあと時間が余るんで、受賞の喜びをとのことで軽く思っていましたら、プログラムに書かれてびっくりしているところでございます。

私は、天皇陛下とちょっと関わりあるなと思ったことが30年前にありました。西クラブ入会が平成元年1月9日でした。JCのは、なんかかかろうじて卒業して、1月に入りまして大沼デパートに来るようになりました。それは、平成元年1月8日から始まりました。1月8日がたまたま日曜日ということもありまして、日曜日はロータリーがないだろうということで、月曜日、西クラブ例会に、平成のロータリー第1号会員だと思います。そして、栄次郎さんからご紹介いただき勝手に、なんかご縁があるなと思ったわけでありまして。陛下はご存知ない話。

それから30年経ちまして、天皇陛下が今回最後の叙勲やらの拝謁を賜るということになり、私は勝手にそのように思っているところでございます。

先輩の方々ですでに受賞されていらっしゃる方がおられますので、私がいまだ大それたことを言えないわけですが、そういったことはもちろん初めてでありますので、これから受賞される方を含めて、行ってきたことをちょっとお話してみたいと思います。

今回皇居に行ってきたのは、周りから聞いた話では、例年ですと警察含めて各省庁合同で、皇居前の三が日、天皇陛下はじめ手を振られる広場があるわけですが、そこがバスでいっぱいになるとお聞きしたんですけれども、どういうわけかたまたま今回は警察関係、何十人しかいなくて、警察だけに天皇陛下がお出まじだかということになったようであります。がらんとしたところに、向かって手を振られる右側に豊明殿というところの入口があります。玄関までまっすぐです。バスが到着してそこで降り、ゆるやかな階段を上り、そこから右に曲がりますと、宮中晩餐会が開かれる1番広い600、700人入る豊明殿に入らせていただきました。そこのドアが開き、宮内庁の方が2人ぐらい入れ、そのあと天皇陛下がお見えになり、人数少ない関係で、少し低い階段で天皇陛下からお言葉をいただいて、私がたまたま最前列だったんです。そして天皇陛下からお言葉をいただいて、少し近くの1番年上の方がお礼を申し上げ、あとお帰りになるのかなと思いましたが、車椅子の方が何人かお出でになられたので、陛下のほうはそちらに向かわれたんです。

最前列だけ1人1人に回って来られまして、近づきましたら思わず、警察の方は鍛えられているから年齢は私よりもかなり上の方々ばかりみたいでしたが、鍛えているせいか早いです。私は民間なので、なんとなくこう、遅いです。思わず頭が下がってましたら、陛下の足元が見えたので、頭を上げたら、陛下が待っておられたというか、大変感激して帰ってまいりました。家内も一緒だったのですが、3列目ぐらいの入口の端の方だったんです。3人だけ前の方が誰もいなくて、すごく喜びまして女房孝行しました。

そんなことで、勲章と勲記をいただいて、経験者はお読みになっていらして、祝賀会などで皆さんもうご覧になっているから、今さらでしょうけども、私もじっくり見てみたら、「日本国天皇は誰々になんとか章を授与する 皇居において璽をおさせる」と書いてあるんです。今回初めてこの璽っていう難しい字なんですけど、天皇の印鑑、刻印だそうで、本当かどうか分かりませんが、ちょっと詳しくそんな人にお聞きしたら、金でできているそうで、重くて1人では押せない、2人で押しているとか言う方がいました。そして、証書の真ん中に赤い。そこもびっくりしました。受賞式におよばれて行ったんですけど、あまり気付かなかった、文書のほうは「大」までつかないんですけど、璽っていうか、刻印っていうか、大日本国璽、印鑑です。「大」がつくんです。ですからおそらく、明治時代からずっと使われているから印鑑は、「大」がついているんじゃないかと、ある人が言っていました。もちろん初めての経験でいろんな勉強させていただいたというのが報告です。

<本日出席・修正出席>

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席 (12/10)	97名	64名	修正出席 (11/26)	97名	86名	84名	97.67%
メイクアップされた会員	(山形南) 酒井 啓孝、伊藤 歩、清野 伸昭、横山 隆太、遠藤 正明、佐藤 吉博、武田 良和、安部 弘行						

年次総会

議長 / 小林 恵一 会長 進行 / 菅原 茂秋 幹事
全議案 満場一致で可決



次々年度会長 / 佐藤 章夫 さん
次年度副会長 / 東海林健登 さん
次年度幹事 / 海和 浩運 さん
次年度会計 / 芦野 茂 さん
次年度理事 / 吉田 福平 さん、西谷 真一 さん
後藤 章洋 さん、原田 久雄 さん
次年度S.A.A. / 武田 岳彦 さん

次年度会長 鈴木 浩司 さん

来年、歴史と伝統ある西クラブの会長を仰せつかりました。改めまして身の引き締まる思いでございますが、私も20年ロータリー生活をしております。そういった意味でまだまだロータリーのこと知らないこと、たくさんありますので、諸先輩方からいろんなご教授をいただきながら、変えてはいけないものと、変えていかなきゃならないものを考えながら、皆さまと一緒に進めて参りたいと思いますので、来年1年よろしくお願いをいたします。

次年度副会長 東海林 健登 さん

歴史と伝統ある山形西ロータリークラブの次年度副会長に選任いただきまして、心より感謝申し上げます。誰かが手を挙げるかなと見てました。私は10年前に幹事を経験いたしました。そのときに私の会長でありました尾形さんにいろいろとご指導、ご鞭撻をいただいたのですが、その後、とんとロータリークラブのこと学習不足でございまして、来年、副会長に就くまでに少し勉強して頑張っていきたいと思っております。それでは皆さん、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

ニコニコBOX

鈴木浩司さん / 本日の総会におきまして次年度のスタッフが報告されます。皆様におかれましては、どうぞ御承認のほど宜しくお願い申し上げます。

遠藤靖彦さん / 雪が降り、外が白くなりました。やっとな冬が来た気がします。これでやっとな灯油が出ます。